

■中国：中央政府は湖北省咸寧原子力の建設を承認、更なる建設構想も

2009年4月、湖北省で開催された「湖北電網第12次五カ年計画期発展計画フォーラム」において、同省内東南部の咸寧市で進められている原子力建設プロジェクトが、すでに中央政府の承認を得ていることが明らかにされた。地元メディアが伝えた。同プロジェクトは2004年6月にサイトが決定し、そのおよそ4カ月後には中央政府の国家発展改革委員会へ趣意書が提出されていた。用地取得や道路整備、環境評価などはすでに完了済みとのことである。また、湖北省政府の関係者は、同省では咸寧市のほかに、黄岡市、黄石市、荊門市でも原子力建設構想があると述べている。このうち、黄岡市のプロジェクトについては、すでに国家発展改革委員会へ趣意書が提出されている。